

大学院等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

区 分	内 容			備 考				
(1) 設 置 者	学 校 法 人 鹿児島大学							
(2) 大学院の名称	鹿児島大学 大学院保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）							
(3) 大学本部の位置	鹿児島県鹿児島市郡元一丁目 21 番 24 号							
(4) 管理運営組織		認 可 時	変 更 状 況	研究科長は認可時、選考中であつたが、平成 17 年 4 月に就任したため。 ⑪				
	職 名	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)					
	理 事 長							
	学 長	(ナガタ ユキヒロ) 永 田 行 博 (平成 15 年 1 月)						
	研究科長		(サカエ キヨヒロ) 坂 江 清 弘 (平成 17 年 4 月)					
(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学状況等								
調 査 対 象 研 究 科 等 の 名 称 (学 位)	認 可 時 の 計 画			入 学 状 況 等				
	修業 年限	入 学 定 員	収 容 定 員	区 分	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平 均 入 学 定 員 超 過 率
保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程） 博士（保健学）	3年	6人	18人	A 入学定員	(6) 人	(6) 人	人	1.08 倍
				受験者数	(8)	(5)		
				合格者数	(8)	(3)		
				B 入学者数	(8)	(3)		
				入学定員 超過率 B/A	1.33	0.83		
				収容定員	(6)	(12)		
				在学者数	1 年次 [0] 8	1 年次 [0] 5 2 年次 [0] 8 3 年次 [計]		
				[計] 0 8	[計] 0 13	[計]		
				基礎となる学部等 医学部保健学科				

2 授業科目の概要

<保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

授 業 科 目 の 名 称	配当年次	単位数又は時間数			専 任 教 員 配 置				備 考
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
									履修方法 ①必修科目として指導教員の指定する分野の専門科目から8単位（特論2、特別演習2、特別研究4）修得。 ②選択科目として、他の教員の開講科目から4単位以上修得。 修了要件 本課程に3年以上在学し12単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
保健学研究科共通科目									
成人健康科学特論	1・2		2		4				
医療管理学特論	1・2		2		1	1			専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑮
専門科目									担当 武井修治（教授） 平成 17 年 10 月審査済 判定 可
（保健看護学分野）									
精神保健看護学特論	1・2		2		2	1			
精神保健看護学特別演習	1・2		2		★ 4	1			
地域健康看護学特論	1・2		2		★ 5	★			緒方重光専任助教授が平成 16 年 12 月 1 日付けで教授に昇任したため。⑯
地域健康看護学特別演習	1・2		2		★	★			
保健看護学特別研究	1～2		4		★	★			
（神経運動障害基礎学分野）									
運動障害基礎学特論	1・2		2		1	1			
運動障害基礎学特別演習	1・2		2		★	★			
運動障害学特論	1・2		2		2				
運動障害学特別演習	1・2		2		★				
神経障害基礎学特論	1・2		2		1				
	未開講								
神経障害基礎学特別演習	1・2		2		★				平成 17 年度に履修希望者がいなかったため。⑮
神経運動障害基礎学特別研究	1～2		4		★	★			
（臨床精神神経障害学分野）									
認知リハビリテーション学特論	1・2		2		2		1		
認知リハビリテーション学特別演習	1・2		2		★		★		
精神障害リハビリテーション学特論	1・2		2		3				
精神障害リハビリテーション学特別演習	1・2		2		★				
臨床精神神経障害学特別研究	1～2		4		★				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
0科目	19科目	0科目	19科目	0科目 []	19科目 []	0科目 []	19科目 []	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	運動障害基礎学特別演習	2	1・2	選択	受講者不在のため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし				

(5) 授業科目を未開講，廃止としたことに係る大学の所見

保健学研究科（博士後期課程）設置後，未開講科目1科目・廃止科目0科目である。未開講科目は受講者がいないためである。いつでも開講できる状態にあり，学生への影響はほとんどないと思われる。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{19} = 0.05$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等		専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	全 学			
		36,566,687㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	36,566,687㎡ (0㎡)				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	全 学			
		312,596㎡ (312,596㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	312,596㎡ (312,596㎡)				
(3) 教室等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設				
	11 室	19 室	19 室	1 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専 任 教 員 研 究 室		調 査 対 象 学 部 等 の 名 称			室 数				
		保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）			53 室				
(5) 図 書 ・ 設 備									
調査対象学部 等の名称		図書 [外国書] 冊	学術雑誌[外国書] 種	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点			
保健学研究科 保健学専攻 博士後期課程		178,696〔 77,026 〕 (178,696〔 77,026 〕)	5,584〔 2,335 〕 (5,584〔 2,335 〕)	89 (89)	2,225 (2,225)	214 (214)			
計		178,696〔 77,026 〕 (178,696〔 77,026 〕)	5,584〔 2,335 〕 (5,584〔 2,335 〕)	89 (89)	2,225 (2,225)	214 (214)			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		全 学	
		15,527㎡		1,177 席		1,174,680 冊			
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				全 学	
		6,876㎡		陸上競技場・球技場・野球場・テニスコート・武道館・ 体育館・室内プール・観覧・弓道場・グラウンド					
(8) 経費の見積 り及び維持 方法の概要	経費の 見積り	区 分		開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	運営交付金による。
		教員 1 人当りの研究費等		千円	千円	図書購入費	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等		千円	千円	設備購入費	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	鹿 児 島 大 学								備 考
既 設 学 部 等 の 名 称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	定 員 超過率	学位又 は称号	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人	倍		年		
法文学部					1. 09		S. 40	鹿児島市郡元1丁目21-30	※ 法文学部編入学定員は学部全体の定員で各学科収容定員の 外数
法政策学科	4	95		440	1. 11	学士 (法学)	H. 9		
経済情報学科	4	145		580	1. 09	学士 (経済学)	H. 9		
人文学科	4	155		620	1. 07	学士 (文学)	S. 54		
			3年次 10	20					
教育学部					1. 11		S. 24	鹿児島市郡元1丁目20-6	
学校教育教員養成課程	4	225	-	900	1. 04	学士 (教育学)	H. 9		
養護学校教員養成課程	4	15	-	60	1. 06		S. 49		
生涯教育総合課程	4	35	-	140	1. 23		H. 9		
理学部					1. 07		S. 40	鹿児島市郡元1丁目21-35	
数理情報科学科	4	40	-	160	1. 04	学士 (理学)	H. 9		
物理科学科	4	45	-	180	1. 11		H. 9		
生命化学科	4	50	-	200	1. 12		H. 9		
地球環境科学科	4	50	-	200	1. 09		H. 9		
医学部			2年次 10		1. 00		S. 30	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	※ 医学部編入学定員は各学科収容定員の 内数
医学科	6	85		560	1. 01	学士 (医学)	S. 30		
保健学科					1. 00		H. 11		
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	1. 00	学士 (看護学)			
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	1. 00	学士 (保健学)			
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	1. 00				
歯学部					1. 00		S. 52	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	
歯学科	6	55	-	345	1. 00	学士 (歯学)	S. 52		
工学部					1. 11		S. 30	鹿児島市郡元1丁目21-40	※ 工学部編入学定員は学部全体の定員で 外数
機械工学科	4	94		376	1. 07	学士 (工学)	S. 30		
電気電子工学科	4	78		312	1. 08		H. 4		
建築学科	4	55		220	1. 10		S. 30		
応用化学工学科	4	60		240	1. 16		H. 3		
海洋土木工学科	4	48		192	1. 13		H. 4		
情報工学科	4	60		240	1. 08		H. 元		
生体工学科	4	60		240	1. 17		H. 9		
			3年次 10	20					
農学部					1. 08		S. 24	鹿児島市郡元1丁目21-24	
生物生産学科	4	80	-	320	1. 13	学士 (農学)	H. 2		
生物資源化学科	4	60	-	240	1. 08		H. 2		
生物環境学科	4	65	-	260	1. 05		H. 2		
獣医学科	6	30	-	180	1. 09	学士 (獣医学)	S. 24		
水産学部					1. 19		S. 24	鹿児島市下荒田4丁目50-20	
水産学科	4	130	-	520	1. 03	学士 (水産学)	S. 50		
水産教員養成課程	4	10	-	40	1. 35		S. 29		
修士 (博士前期) 課程									
人文社会科学研究科							H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-30	
法学専攻	2	5	-	10	1. 50	修士 (法学)	H. 10		
経済社会システム専攻	2	10	-	20	1. 20	修士 (経済学)	H. 10		
						修士 (社会学)			
人間環境文化論専攻	2	5	-	10	1. 30	修士 (文学)	H. 10		
国際総合文化論専攻	2	8	-	16	1. 06	修士 (文学)	H. 10		
臨床心理学専攻	2	9	-	18	1. 04	修士 (臨床心理学)	H. 14		
教育学研究科							H. 6	鹿児島市郡元1丁目20-6	
学校教育専攻	2	6	-	12	2. 58	修士 (教育学)	H. 6		
教科教育専攻	2	32	-	64	0. 90		H. 6		
医歯学総合研究科							H. 16	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	
医科学専攻	2	20	-	40	0. 70	修士 (医科学)	H. 16		
保健学研究科							H. 15	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	
保健学専攻	2	22	-	44	1. 20	修士 (看護学) 修士 (保健学)	H. 15		

大 学 の 名 称	鹿 児 島 大 学								備 考	
既 設 学 部 等 の 名 称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	定 員 超過率	学位又 は称号	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人	倍		年			
理工学研究科						修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-40	平成15年4月1日医歯 学総合研究科(博士課程) 設置に伴い、医学研究科 及び歯学研究科は、募集 を停止。	
機械工学専攻	2	27	-	54	1.18		S. 43			
電気電子工学専攻	2	24	-	48	1.41		H. 6			
建築学専攻	2	18	-	36	1.19		S. 43			
応用化学工学専攻	2	18	-	36	1.33		H. 6			
海洋土木工学専攻	2	15	-	30	1.06		H. 6			
情報工学専攻	2	18	-	36	1.27		H. 5			
生体工学専攻	2	15	-	30	1.30		H. 13			
ナノ構造先端材料工学専攻	2	28	-	56	1.22		H. 14			
数理情報科学専攻	2	12	-	24	1.16		H. 10			
物理科学専攻	2	11	-	22	1.68		H. 10			
生命化学専攻	2	15	-	30	1.39		H. 10			
地球環境科学専攻	2	15	-	30	0.86	H. 10				
農学研究科						修士(農学)	S. 41	鹿児島市郡元1丁目21-24		
生物生産学専攻	2	26	-	52	0.92		H. 6			
生物資源化学専攻	2	21	-	41	0.85		H. 6			
生物環境学専攻	2	22	-	44	0.88	H. 6				
水産学研究科						修士(水産学)	S. 44	鹿児島市下荒田4丁目50-20		
水産学専攻	2	32	-	64	0.88		S. 54			
博士(博士後期)課程										
人文社会科学研究科						博士(学術)	H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-30		
地域政策科学専攻	3	6	-	18	1.41		H. 15			
保健学研究科						博士(保健学)	H. 17	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
保健学専攻	3	6	-	18	1.08		H. 17			
医歯学総合研究科						博士(医学) 博士(歯学) 博士(学術)	H. 15	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
健康科学専攻	4	36	-	108	0.78		H. 15			
先進治療科学専攻	4	58	-	174	0.87		H. 15			
医学研究科						博士(医学)	S. 34	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
生理系専攻	4	-	-	12	-		S. 34			
病理系専攻	4	-	-	8	-		S. 34			
社会医学系専攻	4	-	-	6	-		S. 34			
内科系専攻	4	-	-	14	-		S. 34			
外科系専攻	4	-	-	18	-	S. 34				
歯学研究科						博士(歯学)	S. 59	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
歯学専攻	4	-	-	18	-		S. 59			
理工学研究科						博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-40		
物質生産工学専攻	3	7	-	21	1.00		H. 6			
システム情報工学専攻	3	7	-	21	1.64		H. 6			
ナノ構造先端材料工学専攻	3	12	-	36	0.93		H. 14			
生命物質システム専攻	3	8	-	24	0.54	H. 10				
司法政策研究科						法務博士(専門職)	H. 16	鹿児島市郡元1丁目21-30		
法曹実務専攻	3	30	-	60	1.00		H. 16			
連合農学研究科						博士(農学) 博士(水産学) 博士(学術)	S. 63	鹿児島市郡元1丁目21-24		
生物生産科学専攻	3	8	-	24	1.81		S. 63			
生物資源利用科学専攻	3	7	-	19	1.78		S. 63			
生物環境保全科学専攻	3	4	-	12	1.75		S. 63			
水産資源科学専攻	3	4	-	12	1.25	S. 63				

5 研究科・専攻・課程別教員組織の状況

<保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認 可 時 間 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・非常勤の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・非常勤の別	職名	氏 名 (年齢)	就 任 年 月	担当授業科目名	
⑦	教 授	石 澤 隆 (61歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
⑦	教 授	吉 田 愛 知 (57歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
⑦	教 授	藤 野 敏 則 (54歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
⑦	教 授	木 佐 貴 彰 (50歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
					⑦	教 授	武 井 修 治 (54歳)	平成18年4月	成人健康科学特論 医療管理学特論	専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑩ (平成17年10月審査済)
⑦	教 授	堤 由 美 子 (50歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習 保健看護学特別研究						
⑦	教 授	嶋 田 紀 庸 子 (61歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習 保健看護学特別研究						
⑦	教 授	東 サ ト エ (53歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究						
⑦	教 授	坂 田 由 美 子 (52歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究						
⑦	教 授	波 多 野 浩 道 (53歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究						
⑦	教 授	坂 江 清 弘 (62歳)	平成17年4月	運動障害基礎学特論 運動障害基礎学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						

認 可 時 間 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年齢)	就 任 年 月	担当授業科目名	
⑦	教 授	前 田 哲 男 (53歳)	平成17年4月	運動障害学特論 運動障害学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
⑦	教 授	吉 元 洋 一 (54歳)	平成17年4月	運動障害学特論 運動障害学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
⑦	教 授	吉 田 義 弘 (57歳)	平成17年4月	神経障害基礎学特論 神経障害基礎学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
⑦	教 授	浜 田 博 文 (59歳)	平成17年4月	認知リハビリテーション学特論 認知リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
⑦	教 授	岩 瀬 義 昭 (52歳)	平成17年4月	認知リハビリテーション学特論 認知リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
⑦	教 授	榎 本 貞 保 (56歳)	平成17年4月	精神障害リハビリテーション学特論 精神障害リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
⑦	教 授	築 瀬 誠 (46歳)	平成17年4月	精神障害リハビリテーション学特論 精神障害リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
⑦	教 授	深 野 佳 和 (54歳)	平成17年4月	精神障害リハビリテーション学特論 精神障害リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
⑦	助教授	丹 羽 さ よ 子 (48歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習						

認 可 時 間 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年齢)	就 任 年 月	担当授業科目名	
⑨	助教授	下敷 領 須美子 (53歳)	平成17年4月	精神保健看護学 特別演習						
⑨	助教授	緒 方 重 光 (51歳)	平成17年4月	地域健康看護学 特論 地域健康看護学 特別演習 保健看護学特別 研究	⑨	教 授	緒 方 重 光 (51歳)	平成17年4月	地域健康看護学 特論 地域健康看護学 特別演習 保健看護学特別 研究	緒方重光専任助教授が平成16年12月1日付けで教授に昇任したため。⑩
⑨	助教授	宇 都 由 美 子 (48歳)	平成17年4月	医療管理学特論 地域健康看護学 特論 地域健康看護学 特別演習 保健看護学特別 研究						
⑨	助教授	大 重 匡 (44歳)	平成17年4月	運動障害基礎学 特論 運動障害基礎学 特別演習 神経運動障害基 礎学特別研究						
⑨	講 師	窪 田 正 大 (38歳)	平成17年4月	認知リハビリテー ション学特論 認知リハビリテー ション学特別演習						
兼任	教 授	熊 本 一 朗 (51歳)	平成17年4月	医療管理学特論						
兼任	講 師	渡 邊 ミ 子 子 (63歳)	平成17年4月	精神保健看護学 特論						

(2) 教 員 数

認 可 時 間 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
13 (13)	4 (4)	17 (17)	21 (21)	13 (13)	4 (4)	17 (17)	21 (21)	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1			該当なし

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

該当なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (17年4月1日)	特になし	特になし	特になし
年次計画履行状況 調 査 時 (17年5月1日)	特になし	特になし	特になし
年次計画履行状況 調 査 時 (18年5月1日)	特になし	特になし	特になし

7 その他全般的事項

<保健学研究科保健学専攻>

(1) 設置計画変更事項 等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 , 今 後 の 見 通 し な ど
特になし	特になし

(2) 自己点検・評価等に関する事項

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり) B 自己点検・評価報告書 a 公表(予定)時期 ・自己点検・評価を実施する予定の平成19年度以降に公表することを検討中である。 b 公表方法 ・印刷物等で公開し、社会から広く意見を求める方向で検討中である。 C 認証評価を受ける計画 ・平成19年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けるべく学内で予定しており、大学院保健学研究科も同時に行う予定である。
--

(2) 自己点検・評価等に関する事項

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

鹿児島大学は、自己点検・評価について、自ら行う教育、研究、組織、運営等の状況の点検・評価を適切かつ円滑に実施し、その結果を本学の教育研究活動等の改善に資するとともに社会に対する説明責任を果たすことを目的としている。

評価の基本項目は、本学が行う教育、研究、社会貢献、国際交流、診療、管理運営の諸活動となっている。

そして、国立大学法人評価及び認証評価に準じて、平成18・19年度に自己点検・評価を実施する予定になっており、大学院保健学研究科もこれらにあわせて行う。